

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立聴覚障害者情報センター	所管課	障害福祉課
所在地	甲府市北新1-2-12	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨県社会福祉事業団、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立聴覚障害者情報センター設置及び管理条例		
設置目的	聴覚障害者の情報不足を補うとともに、コミュニケーションの場を確保して福祉向上を図る。		
主な施設内容 (定員等)	・事務室、会議室、試写室、試写コーナー、相談室、スタジオ制作室、印刷室、パソコン室		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○聴覚障害者用の録画物の制作及び貸出しに関する業務 ○聴覚障害者に関する相談業務 ○手話通訳及び要約筆記を行う者の養成に係る講座の実施並びにその者の派遣に関する業務 ○その他、知事が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	なし
---------------	----

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	手話通訳者派遣	2,654	2,379	2,115	
	要約筆記奉仕員派遣	338	424	265	
	ビデオ(DVD)貸出し	359	219	178	
	相談	180	151	137	
	中継	47	83	60	
	会議室利用	10,786	9,814	9,087	
	見学者等	560	544	225	
	利用者数合計	14,924	13,614	12,067	
	目標値	—	—	—	—
	目標値設定の考え方	—	—	—	—
対平成19年度比	100.0%	91.2%	80.9%	—	
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成(20)年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	31,340,000	33,348,000	33,348,000	33,511,000
	その他	7,350,494	5,492,000	4,066,184	5,313,000
	収入合計(A)	38,690,494	38,840,000	37,414,184	38,824,000
支出	人件費	25,748,315	23,643,000	21,124,872	21,905,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	11,594,510	14,231,000	12,179,624	15,880,000
	(うち外部委託費)(B)	0	0	0	0
	支出合計(C)	37,342,825	37,874,000	33,304,496	37,785,000
収支差額(A-C)		1,347,669	966,000	4,109,688	1,039,000
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当りの経費		2,302	-	2,764	-

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:聴覚障害者情報センター利用者、へのアンケート、回答数:延べ254人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①職員対応	55.0%	43.0%	2.0%	0.0%
②手話通訳派遣事業	53.0%	27.0%	0.0%	20.0%
③要約筆記派遣事業	41.0%	32.0%	0.0%	27.0%
④ビデオライブラリー事業	55.0%	23.0%	6.0%	16.0%
⑤相談事業	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
⑥ろうあ者成人学級事業	71.0%	11.0%	0.0%	18.0%
⑦その他(就労支援事業)	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%
各項目の平均	60.7%	20.9%	1.1%	17.3%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○通訳事業の中で職員からアドバイスをいただける。 ○手話通訳者を派遣してもらい助かっている。 ○通訳者がなかなか決まらないことがあった。 ○ビデオライブラリーの自主制作作品を多く出してもらいたい。 ○成人学級は参加して勉強になった。
利用者の意見への対応	○22年度の派遣事業実施にあたって意見を考慮していく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画に基づき、日常的な清掃及び整理整頓を行うとともに、ビデオ制作機器等の備品については、安全な保管、整備点検を行った。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。
運営業務	計画どおり事業を実施するとともに、聴覚障害者協会等関係団体と連携を図る中でニーズの掘り起こしを行い、聴覚障害者福祉の向上に努めた。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。
自主事業		
利用状況	アンケート調査の結果は概ね良い評価であり、引き続き適正な運営を行っている。	概ね計画どおり適正な管理運営がされている。
収支状況	一部手話通訳者等派遣事業が県から市町村に移行したこと等により利用者数は減少となったが、事業の実施については適正に行われている。その他収入のうち一部事業について収入未済となった。	一部事業が市町村に移行したが、市町村と連携を図る中で事業は適正に実施されている。引き続き、適正な執行に努めること。
利用者満足度	利用者には概ね満足していただいているが、今後も利用者及び関係団体の声を聞き、サービスの向上に努めていく。	全体的に満足度は高めであり、引き続き県内唯一の情報提供施設としてニーズの掘り起こしを行い、特に情報保障や就労支援等、国の障害者制度改革を見据えた取り組みを積極的に行うことが必要。
運営目標の達成状況	手話通訳者等の派遣件数や相談件数等は前年度実績を下回るものの、平成21年度は、「新やまなし障害者プラン」に定めた手話通訳者登録に係る数値目標である4人、同じく要約筆記奉仕員については数値目標の14人を上回る16人を養成するなど、運営目標についてはおおむね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ○現地確認を行ったところ、概ね業務は適正に実施されている。 ○利用者からの満足度(評価)についても、概ね良好である。 ○手話通訳者等の養成については、より一層講座内容を工夫する中で、「新やまなし障害者プラン」の数値目標の達成に向け取り組むこと。 ○利用者満足度調査の結果や、これまでの運営業務の分析を基に、引き続き聴覚障害者の福祉向上に向け施設の適正な管理運営に取り組むこと。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○手話通訳者養成特別コースのカリキュラム検討を行った。 ○県内聴覚障害関係団体と連携し、センター運営にあたる。 	

7. 管理体制(組織図)

